

3204 235

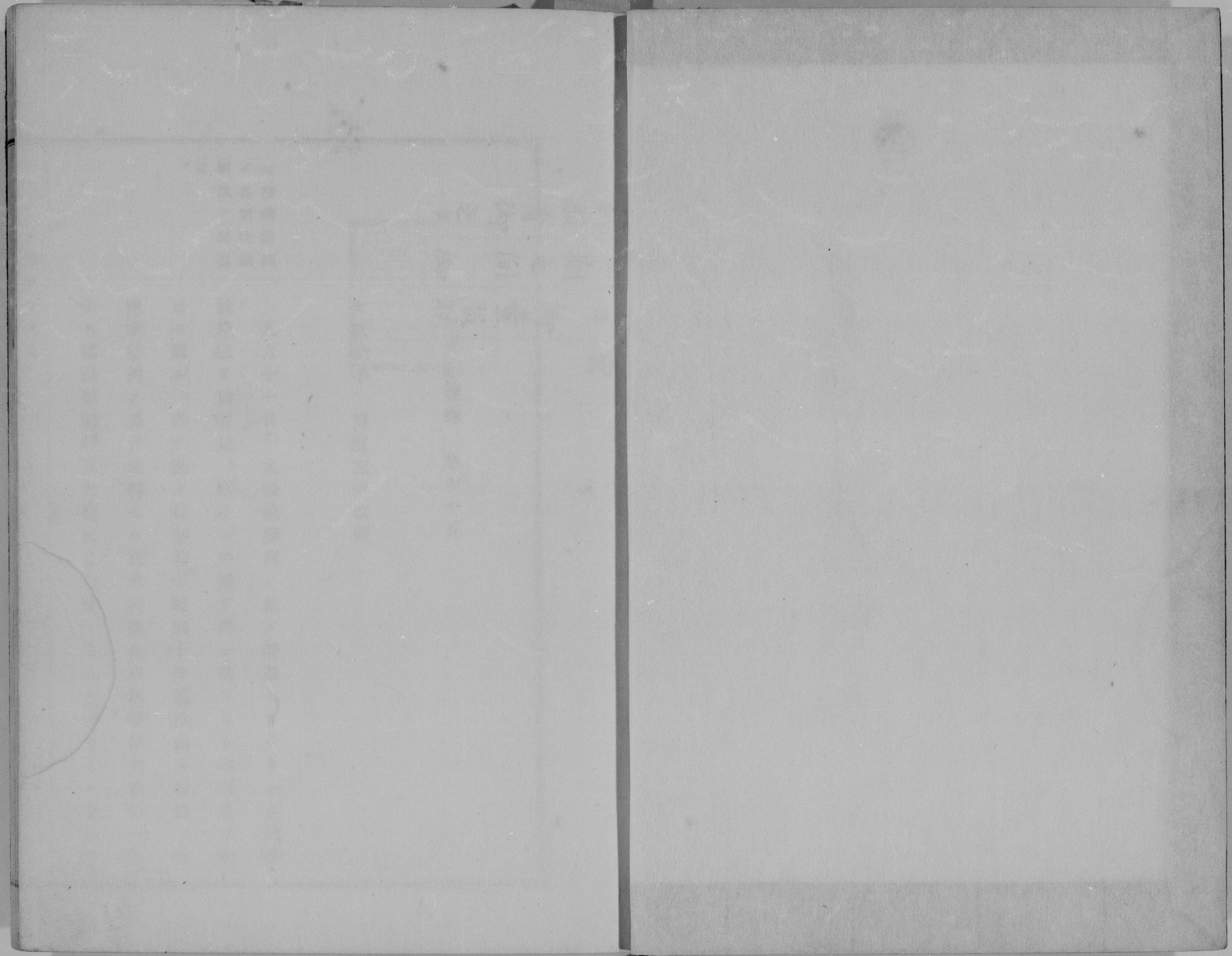
大正天皇實錄

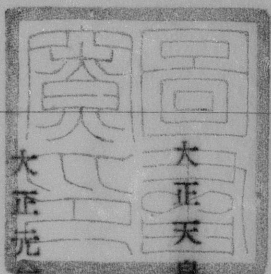
卷四十九

圖書寮	
冊號	64047
冊數	97
品號	秘 4

7 8 9 70 1 2 3 4 5 6 7 8 9 80 1 2 3 4 5 6 7 8 9 90 1 2 3 4 5 6 7 8 9

3204 236



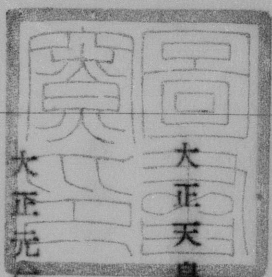


大正天皇實錄 卷四十九
大正元年 實算三十四歲

大喪儀參列
ノ各國特派
使臣ヲ御引
見

九月十一日、大喪儀參列ノ爲メ特派セラレタル各國特派使臣ヲ御引見、尋イデ午饗ヲ催シ給フコト本日及ビ明日ニ亘ル。即チ是ノ日午前十時四十分鳳凰閣ニ出御、大喪儀參列ノ爲メ來朝セル亞米利加合衆國特派大使のつくす。露西亞國特派大使にこらす。まれうすきー。まれう

大正元年九月



大正天皇實錄 卷四十九

大正元年 實算三十四歲

大喪儀參列ノ各國特派使臣ヲ御引見

九月十一日、大喪儀參列ノ爲メ特派セラレタル各國特派使臣ヲ御引見、尋イデ午饗ヲ催シ給フコト本日及ビ明日ニ亘ル。即チ是ノ日午前十時四十分鳳凰閣ニ出御、大喪儀參列ノ爲メ來朝セル亞米利加合衆國特派大使のつくす。露西亞國特派大使にこらす。まれウすきー。まれウ

大正元年九月

いっち。瑞典國特派使節ぐすたふ。おすかる。わるれん
 べるぐ。埃地利匈牙利國特派大使男爵らちすらす。みゆ
 るれる。ど。すつえんときおるぎ。墨西哥合衆國特派
 使節どん。らもれ。ぜい。ばちえこ。白耳義國特派使節
 伯爵じおるじゆ。どら。ふあいう。ど。るがえ。るげむ。
 亞爾然丁國特派使節ふらんしすこ。おるちす放ビニ本邦
 ニ駐劄セル獨逸國特命全權大使伯爵ふん。れつくす。
 亞米利加合衆國特命全權大使ちや。るす。べいち。ぶら
 いあん。西班牙國特命全權公使どん。らみ。ろ。ひる。
 で。うりばり。以下亞米利加合衆國特派大使隨員陸軍少

獨逸皇族は
 いんりつひ
 親王ヲ御引
 見

大正元年九月

將じよん。じえい。ばーしんぐ。海軍少將あるふれつど。
 れいのるづ。書記官らんすふ。ちど。えす。みらい等ヲ
 御引見アリ。尋イデ特派使臣等ハ接伴員ニ導カレ、殯宮
 ニ參進シテ靈柩ヲ拜シ、亞米利加合衆國特派大使。墨西
 哥合衆國特派使節ハ同國大統領ノ、露西亞國特派大使。
 埃地利匈牙利國特派大使。瑞典國特派使節。白耳義國特
 派使節。獨逸國特命全權大使ハ同國皇帝ノ、瑞西國特派
 使節ハ同國聯邦政府ノ贈進セル花環ヲ捧呈ス。
 午前十一時四十五分參内セル獨逸國皇族はいんりつひ
 親王ヲ御車寄ニ迎へ給ヒ、鳳凰閣ニテ皇后ト俱ニ御引見、

西國皇族は
るぼん親王
ヲ御引見

獨逸皇帝ノ親書竝ビニ贈進ノ勳章ヲ受ケサセラレ、畢リ
テ親王ノ隨員、親王附別當陸軍中將ふん・ぼえーん。
同海軍中將男爵ふん・せつけんどもるふ等ニ賜ヲ賜フ。
是ヨリ親王ハ載仁親王ノ誘導ニテ殯宮ニ進ミ靈柩ヲ拜シ、
同國皇帝贈進ノ花環ヲ供フ。又午後零時十五分西班牙國
皇族どん・あるふんそ・で・おるれあん・い・ぼるぼ
ん親王ヲ御車寄ニ迎へ給ヒ、鳳凰間ニテ皇后ト俱ニ御引
見、親書ヲ受ケサセラル。畢リテ親王ノ隨員、大使館參
事官ぎるでるかーど其ノ他ニ賜ヲ賜フ。夫ヨリ親王ハ依
仁親王ノ誘導ニテ殯宮ニ進ミ靈柩ヲ拜シ、同國皇帝贈進

豊明殿ニ於
テはいんり
つひ親王・
ぼるぼん親
王ト御會食

ノ花環ヲ供ス。

斯クテ兩國親王ヲ始メ各國特派使臣ノ御引見ヲ終ラセ
給ヒ、尋イデ皇后ト俱ニ豊明殿ニ出御、午餐ヲ御催アリ、
載仁親王。同妃智恵子。依仁親王。同妃周子ヲ召シ、獨
逸。西班牙兩國皇族ト御會食、前記各國特派使臣竝ビニ
其ノ妻及ビ獨逸國特命全權大使伯爵ふん・れつくす。
亞米利加合衆國特命全權大使ちやーるす・べーぢ・ぶら
いあん。西班牙國特命全權公使どん・らみーろ・ひる。
で・うりばりー。はいんりつひ親王隨員別當陸軍中將ふ
ん・ぼえーん。海軍中將男爵ふん・せつけんどもるふ。

海軍大尉ふん・ちゆすか。海軍大軍醫どくとる。びる
 ふるんげる。ぼるぼん親王隨員大使館參事官ぎるでるか
 ーど。陸軍一等中尉もれの。公使館書記官どん・ちえこ。
 てる。あるかざる。こんと。で。がいらぬぢあな。陸軍
 參謀少佐どん・えづあるど。ふえれら。で。ら。ろさ。
 亞米利加合衆國特派大使隨員陸軍少將じよん・じえー。
 ばーしんぐ。海軍少將あるふれつど。れいのるづ。書記
 官らんすふおーど。えす。みらー及び侍從長公爵桂太郎。
 内閣總理大臣侯爵西園寺公望。海軍大臣男爵齋藤實。宮
 内大臣伯爵渡邊千秋。外務大臣子爵内田康哉以下各接伴

圖書寮

こんのーと
親王ヲ御引
見御會食

員等ニ陪食ヲ賜フ。又十二日ニハこんのーと親王ヲ主賓
 ト爲シ、伊太利國特派大使侯爵ぐるつちより。佛蘭西國
 特派大使陸軍大將るぼん。和蘭國特派使節じやん・へる
 まん・ふん・ろいえん。暹羅國特派使節ぶら・ちやむ
 のん・ちたーかー。智利國特派使節あるふれつど。いら
 らさうある。さにやるつ。丁抹國特派使節伯爵べー。あ
 ーれふえると。らうるふいつぐ。諾威國特派使節べー。
 あんける。伯刺西爾國特派使節ぐすたがお。で。がいあ
 んな。けるしゆ。葡萄牙國特派使節へんりけ。おーこん
 のる。まるちんす及びこんのーと親王ノ隨員、元帥ろー

ど・めすーえん。海軍大將さー。えどまんど・えす・ほ
 いー。外務省員まいるす。らむぶそん。陸軍大尉いー。
 えつち・ぼなむ。佛蘭西國特派大使隨員海軍大佐ぐらん
 くれまん。外務省官房次長ど。もんていゆ。陸軍中尉じ
 やつく。るぼん。伊太利國特派大使隨員特命全權公使伯
 爵かるろ。すふ。るざ竝ビニ英吉利國特命全權大使さー
 くろーど。まつくすうえる。まくどなるど。佛蘭西國特
 命全權大使おーぎゆすと。じえらーるヲ御引見アリ、殯
 宮ニ御拜ヲ允シ、尋イデ貞愛親王。邦彦王。同妃倪子。
 守正王。同妃伊都子ヲ召シ、午餐ヲ備サセラルル等其ノ

圖書寮

獨・西・英
三皇族ヲ訪
ヒ給フ

儀概ネ前日ノ如シ。

猶ホ、十一日ニハはいんりひ親王ヲ霞關離宮ニ、ぼ
 るぼん親王ヲ芝離宮ニ、又十二日ニハこんのーと親王ヲ
 伏見宮邸ニ御過訪アリ。侍從職日記・典侍日記・
外實參内録・官報

大喪儀

十三日、大喪儀ヲ是ノ日ヨリ三日間ニ涉リテ行ハセラ
 ル。其ノ儀ニ先ダテ靈代奉安ノ儀アリ。午前六時大喪使
 隨員、禮殿ニ充テラレタル桐間ヲ裝飾シ、七時大喪使事
 務官。祭官長等著床、祭官長公爵鷹司照通祭詞ヲ奏シ訖
 ルヤ、九時式部長官伯爵戸田氏共。宮内大臣伯爵渡邊千
 秋ニ先導セシメ侍從等ヲ隨ヘテ出御、御拜アリ。次ニ皇

靈代奉安ノ
儀

敘葬當日
官祭ノ儀

后。皇太后モ亦拜シ給フ。畢リテ入御アラセラル。尋イ
テ殯宮祭ノ儀アリ。諸員著床スルヤ、戸田式部長官。渡
邊宮内大臣ノ先導ニテ、侍從劍璽ヲ捧ジ、侍從長。侍從
武官長等御後ニ候シ、親王。王ヲ供奉セシメ十時出御、
續キテ皇后。皇太后出御、親王妃。王妃供奉ス。鷹司祭
官長祭詞ヲ奏セル後、親シク御拜アリ、皇后。皇太后。
親王。親王妃。王。王妃亦然リ。因ニ兩儀トモ御服裝ハ
陸軍式正装ニ喪章ヲ附シ給ヘリ。

輿車發引ノ
儀

午後七時二十分靈柩殯宮ヨリ出御、御車寄ニ於テ輿車
ニ奉遷、八時發車アラセラル。仍リテ皇后。皇太后ト俱

青山葬場殿
ノ儀

ニ七時四十五分常御殿御庭ヨリ御馬車ニテ御車寄前鐵橋
西南方ニ渡ラセラル、通御ノ輿車ニ御拜アリ、夫ヨリ皇
后ト俱ニ青山葬場ニ行幸、第二鳥居内ニテ輿車ノ著御ヲ
迎ヘ給ヒ、十一時十五分ヨリ葬場殿ノ儀ヲ行ハセラル。
御饌二十一盞。錦。綾。帛以下種々ノ幣物ヲ奠セシメ、
親シク御誄ヲ奏セラル。

御誄ヲ奏セ
ラル

嘉仁體ミテ 皇考ノ靈前ニ白ス
皇考ノ登遐シ給ヒシヨリ夙夜夢寐温容ヲ暖ル能ハス
楓宮ニ殯殿ニ奉饌拜參シテ空シク靈前ニ感泣スルコ
ト早ヤ已ニ四十餘日今ヤ伏見桃山ニ敘葬セムトシ輿

車ヲ送りテ此ニ來レリ願フニ爨ニ 皇考ノ病革ルヤ
 上下憂懼シテ天地ニ祈ルアリ茲ニ其ノ葬儀ヲ行フヤ
 朝野悲傷シテ已マス是レ皆ナ國民忠忱ノ發露スル所
 ニシテ即チ 皇考德澤ノ感孚スル所ナリ此ヲ思ヒ彼
 ヲ念ヒ痛悼ノ情倍マス切ナリ嗚呼哀イ哉
 夫ヨリ皇后。皇太后御名代恒久王妃昌子内親王御拜アリ、
 英吉利國皇帝名代あーさー・おぶ・こんのーと親王以下
 各國元首名代竝ビニ貞愛親王以下親王。親王妃。王。王
 妃ノ御拜アリ、尋イデ内閣總理大臣侯爵西園寺公望。宮
 内大臣伯爵渡邊千秋諱ヲ奉奏シ 大勳位。親任官以下諸

圖 書 寮

靈柩御發車

員拜禮、訖リテ靈柩ヲ汽車ニ奉安ノ儀アリ。翌十四日午
 前二時靈柩車青山假停車場御發車ヲ御見送ノ後、皇后ト
 俱ニ青山離宮ニ還御アラセラル。靈柩列車ハ午後五時十
 分桃山假停車場ニ著御、靈柩ハ葱華堂ニテ陵所ニ進御、
 七時三十五分陵前ノ祭場殿ニ到ラセラル。翌十五日午前
 五時二十分御垣柩、九時祭典アリ、御名代載仁親王御拜、
 告文ヲ奏シ、次ニ皇后御名代載仁親王妃智恵子。皇太后
 御名代依仁親王妃周子御拜アリテ陵所ノ儀畢ル。是ヨリ
 先天皇、御座所北側縁端ニ出御、遙ニ桃山ヲ拜シ給ヘリ。
 猶ホ陵名ヲ伏見桃山陵ト勅定アラセラル。
侍從職日記。
侍從武官府日

陵所ノ儀

陵名勅定

大正元年九月

恩赦ヲ行ハセラル

是ノ日、大喪儀ヲ行ハセラルル故ヲ以テ恩赦ノ詔アリ、
日夕、

詔

朕遽ニ大故ニ遭ヒ哀矜已マス前典ヲ繹ネテ惠澤ヲ遠
邇ニ洽カラシメ以テ朕カ悶極ノ哀ヲ申ヘムコトヲ念
ヒ特ニ有司ニ命シテ恩赦ヲ行ハムトス百僚有衆其レ
朕カ意ヲ體セヨ

内帑金ヲ頒賜

ト。更ニ勅語ヲ賜ヒテ、内帑金百萬圓ヲ朝鮮。臺灣。關
東州。樺太。北海道並ビニ三府四十三縣ノ各地方ニ頒賜
シ、以テ惠恤ノ資ニ充テシメラル。
明治天皇大喪儀・官報

圖書寮

斂葬翌日禮殿祭

十六日、斂葬翌日禮殿祭ニヨリ午前九時御出門宮城ニ
出御、皇后ト俱ニ御拜アラセラル。猶ホ、山陵ニハ御名
代載仁親王以下參向、斂葬翌日山陵祭ノ儀行ハレタリ。
侍從職日記・輿
侍日記・官報

西・獨逸國皇族ト御會食

是ノ日、大喪儀終レルヲ以テ、其ノ儀ニ參列セル獨逸。
西班牙兩國皇族ヲ始メ、各國特派使臣ヲ召シテ午饗ノ御
儀アリ。午後零時十分西班牙國皇族どん。あるふんそ。
おるれあん。い。ぼるぼん親王ヲ御車寄ニ迎へ給ヒ、鳳
凰間ニテ皇后ト俱ニ御引見アリ、尋イデ獨逸國皇族はい
んりっひ親王ヲ御車寄ニ迎へ給ヒ、同ジク鳳凰間ニテ皇

后ト俱ニ御引見アリ。夫ヨリ豊明殿ニ出御、博恭王。守
 正王妃伊都子。鳩彦王。成久王妃房子内親王。恒久王妃
 昌子内親王ヲ召シ、兩國皇族ト御會食、亞米利加合衆國
 特派大使のつくす夫妻。佛蘭西國特派大使陸軍大將るぼ
 ん夫妻。露西亞國特派大使にこらす。まれうすき。ま
 れうい。ち。伊太利國特派大使侯爵ぐる。ちより夫妻。
 奧地利匈牙利國特派大使男爵らぢすらす。みゆるれる。
 ど。すつえんとぎおるぎ。佛蘭西國特命全權大使お
 ぎゆすと。じえら。獨逸國特命全權大使伯爵ふおん。
 れつくす。亞米利加合衆國特命全權大使ちや。るす。べ

いち。ぶらいあん。瑞典國特派使節ぐすたふ。おすかる。
 わるれんべるぐ夫妻。墨西哥合衆國特派使節どん。らも
 ん。ぜい。ばちえこ夫妻。和蘭國特派使節じゃん。へる
 まん。ふあん。ろいえん夫妻。瑞西國特派使節ふえるぢ
 なんだ。さりす夫妻。暹羅國特派使節ぶら。ちやむのん。
 ちた。か。白耳義國特派使節伯爵じおるじゆ。どら。
 ふあ。いゆ。ど。るうえるげむ夫妻。智利國特派使節ある
 ふれつど。いららさうある。さにやるつ夫妻。丁抹國特
 派使節伯爵べい。あ。れふえると。らうるふい。ぐ。西
 班牙國特命全權公使どん。らみ。ろ。ひる。で。うりば

り。諸威國特派使節ペー・あんける。亞爾然丁國特派使節ふらんしすこ・おるちす。伯刺西爾國特派使節ぐすたウ・で・ウ・いあんな・けるしゆ。葡萄牙國特派使節へんりけ・おーこんのる・まるちんす。獨逸國皇族隨員海軍中將男爵ふん・せっけんどのるふ。海軍大尉ふん・ちゆすか。海軍大軍醫どくとる・びるふるんげる。陸軍中將ふん・ぼえーん。西班牙國皇族隨員大使館參事官ぎるでるかーど。陸軍一等中尉もれの。公使館書記官どん・ちえご・でる・あるかざる・こんと・で・ウ・いらぬちあな。公使館附陸軍武官陸軍參謀少佐えづあるど・ふえ

れら・で・ら・ろさ。亞米利加合衆國特派大使隨員陸軍少將じよん・じえー・ばーしんぐ。海軍少將あるふれつど・れいのるづ。書記官らんすふーど・えす・みらー。佛蘭西國特派大使隨員海軍大佐ぐらんくれまん。外務省官房次長ど・もんていゆ。陸軍中尉じゃっく・るぼん。伊太利國特派大使隨員特命全權公使伯爵かるろ・すふゑるざ夫妻。獨逸國海軍中將ふん・くろーじく。同海軍大佐ちいすまいえる。同海軍大佐ろえーしんぐ。同海軍大佐ペーんけ。亞米利加合衆國海軍大佐えりこつと。佛蘭西國海軍少將けるゆい。同海軍大佐うえるとー。同海

軍大佐ぐーど。同海軍大尉があんちえー。埃地利匈牙利
 國海軍中佐ふん・なうたあ。和蘭國海軍中佐ど・さぶ
 ろにえーる及ビ侍従長公爵桂太郎。宮内大臣伯爵渡邊千
 秋。外務大臣子爵内田康哉。特命全權大使子爵栗野慎一
 郎。式部長官伯爵戸田氏共。侍従武官長男爵中村覺。第
 二艦隊司令長官海軍中將吉松茂太郎。皇后宮大夫心得公
 爵一條實輝。式部次官公爵伊藤博邦。宮内省御用掛井上
 勝之助。帝室會計審查局長官齋藤桃太郎。陸軍中將男爵
 村田惇。陸軍中將秋山好古。式部官山内勝明。陸軍次官
 陸軍中將岡市之助。海軍次官海軍少將財部彪。外務次官

圖書寮

倉知鐵吉。式部官男爵萬里小路正秀。式部官吉田要作。
 外務書記官男爵大島富士太郎。皇后宮職女官吉見光子。
 皇后宮職御用掛松平信子ニ陪食ヲ賜フ。御會食中種々御
 會談アリ、特ニはいんりつひ親王ニハ獨逸國驅逐艦遭難
 御慰問ノ辭ヲ述ベサセラレ、午後三時四十分青山離宮ニ
 還御アラセラル。侍従武官府日誌・侍従職
 日記・外實參内録・官報
 十八日、英吉利國皇帝名代ぶりんす・あーさー・ふれ
 どりつく・ばとりつく・あるばーと・おぶ・こんのーと、
 がいたー勳章捧呈ノ爲メ參内スルヲ以テ、午前九時三分
 青山離宮御出門、皇后ト俱ニ宮城ニ出御アラセラル。

親王参内
このいと

十一時二十分このいと親王参内ニ當リ、途中儀仗トシテ近衛騎兵二小隊ヲ附セシメ、警部四騎前驅後衛ヲ勤ム。接伴員海軍大將伯爵東郷平八郎陪乗ス。宮城御車寄ニ到ルヤ式部官加藤泰通階下ニ、式部官峰須賀正韶。同伯爵龜井茲常階上ニ迎フ。親王、がいたー大綬及ビじよーじ徽章保持者陸軍元帥ろーど・めすーえん。がいたー勳章保持者海軍大將さー・えどむんど。ぼーえ。がいたー頸飾章及ビ星章保持者御附武官陸軍大尉えりつく。ぼなむ及ビがいたー勳章勳記及ビ勳服保持者がいたー勳章捧呈式参列書記官代理使節書記官まいるす。らむぶせん

圖書寮

がいたー勳
章捧呈式

等ヲ隨へ、式部長官伯爵戸田氏共ノ誘導ニテ控所西一ノ間ニ到リテ小時休ス。
式場正殿ニハ皇族。大勳位以下並ビニ英吉利國大使。英吉利國支那艦隊司令長官以下参列スルヤ天皇、皇后ト俱ニ出御アリ、御服ハ陸軍式正裝ヲ召シ、白羅紗短袴ニテ長靴ヲ御着用アリ、大勳位菊花章頸飾副章ヲ佩用アラセラル。皇后ノ御服之ニ準ズ。式部次官公爵伊藤博邦ノ先導ニテこのいと親王隨員ヲ隨へ正殿ニ参進本位ニ就ク。時ニ天皇立御、親王ヲ迎へ給フ。是ニ於テ先ヅ英吉利國特命全權大使さー・くろーど・まつくすうえる。ま

くどなるど使節隨員ノ氏名ヲ奏シ、儀ニ及ブ。隨員等著床スルヤ親王御前ニ進ミ、じよーじ第五世ノ親書及ビ勅章持參ノ委任狀ヲ捧呈シ、且ツ使節ノ目的ヲ奏ス。其ノ譯詞ニ曰ク、

予ハ我至尊ナル君主ニシテ且ツ從兄タル皇帝ノ命ヲ奉シ我皇帝陛下ニ於テ贈呈セララルコトヲ得ヘキ友誼竝ニ尊敬ノ至高ナル徵證ヲ茲ニ貴皇帝陛下ニ捧呈シテ受納アランコトヲ冀フ

今ヲ距ルコト六箇年前予ハ往古ヨリ傳來シテ最モ貴重ナル此がいたし勅章ヲ英明ナル父皇陛下ニ捧呈

スル爲メ貴國ヲ訪問スルノ特典ニ浴シタリシカ此訪問ノ記憶ハ今ニ至ルマテ尙ホ予ノ胸中ニ歷々タリ陛下及貴國ノ上ニ今回生シタル悲ムヘキ大喪ノ此ノ時機ニ際シ予ノ奉シタル使命ハ左ニ列記スル二種ノ目的ヲ達スルニ在リトス

第一 大不列顛ト共ニ特別ノ親交竝ニ同盟ノ好誼ヲ保タレタル父皇陛下ノ追悼ニ對スル我君主自身ノ表弔

第二 我皇帝陛下ニ於テ父皇陛下ニ對スルト同一ナル友交ノ表彰ヲ陛下ニ贈呈セラレタキ希望

ノ顯著ナル勳章

是ヲ以テ陛下ハ予ノ君主カ陛下ニ對シテ懷抱セラ
ル友誼竝ニ尊敬ノ標徴トシテ最モ貴重ナルがいた
勳章ヲ受領セラレンコトヲ冀フ

ト。又捧呈セル親書ノ譯ニハ、

朕ハ朕ノ誠實ナル友誼竝ニ敬意ト幸ニ貴我同盟ノ兩
帝國間ニ現存スル輯睦ノ關係ヲ維持シ且ツ之ヲ増進
スヘキ熱望トノ徴證ヲ陛下ニ致サンコトヲ欲シテ茲
ニ陛下ヲ朕ノ最モ尊重スルがいた勳章ノ「ないど
こむばにおん」騎士ノ列ニ敘シ且ツ朕カ朕ニ代リテ朕ノ

最モ貴重スル此勳章ヲ陛下ニ贈呈セシムルカ爲メニ
均シク此騎士ノ列ニ在ル朕ノ親愛スル伯父じゆく
おぶ・こんのーと・えんど・おぶ・すとらざーん殿
下ノ子ニシテ朕ノ親愛スル從弟ぶりんす・あーさー
ふれでりつく・ばとりつく・あるばーと・おぶ・こ
んのーと殿下ヲ選任セリ

朕ハ朕ノ誠實ナル尊敬ノ標徴ヲ陛下ニ致スヘキ任務
ヲ同殿下ニ委ネタルヲ以テ陛下ニ於テハ同殿下ヨリ
之ヲ嘉納セラレンコトヲ希望シ尙ホ此時機ニ際シテ
同殿下カ朕ニ代リテ陛下ニ傳フヘキ總テノ使命就中

不渝ノ友情及最高ノ敬意ヲ陛下ニ確保スルニ當リテ
ハ特ニ陛下ノ信任アラシコトヲ請フ

千九百十二年八月二十一日

ばつきんがむ宮ニ於テ

陛下ノ良弟

じょーじ

朕ノ良兄

日本國皇帝陛下

ト。御贈呈ノ所以ヲ拜スルニ足ルベシ。天皇即チ之ニ御
答アリテ曰ク、

貴國皇帝陛下ノ御名代トシテ殿下ヨリ最高ノ勳章ヲ
受納スルハ朕ノ欣幸トスル處ナリじょーじ陛下カ此
ノ貴重ナル勳章ヲ朕ニ贈與セラルル友情好意ハ實ニ
感銘ノ至リニ堪ヘス殿下幸ヒニ朕カ深謝ノ詞ト且ツ
陛下ニ對シ懷抱スル敬意ト猶ホ陛下ノ福壽無量ヲ個
體スルノ誠意トヲ宜敷陛下ニ表明セラレンコトヲ希
フ

ト。次ニコんのーと親王、がいたーヲ天皇ノ御左膝ニ帶
附シ、大綬じょーじ徽章ヲ天皇ノ御左肩ヨリ斜ニ右脇ニ
垂下シ、且ツ星章ヲ御左胸ニ掲ゲ、更ニ勳服ヲ御雙肩ニ

鳳凰閣ニ於
テ御對面

掛ケ、頸飾章ヲ御頸ニ纏繞シ奉リテ儀訖ル。即チ隨員ヲ率テ御前ヲ退下ス。因ニ明治天皇ノ御時がいたし勳章捧呈式ニハ奏樂アリシガ、今回ハ大喪中ニヨリ其ノ事ヲ止メラレタリ。

こんのいと親王等控所ニ休憩中、天皇御著替アリ、陸軍式正裝ニテ長袴ヲ用ヒサセ給ヒ、大勳位菊花章頸飾。同大綬章。勳一等旭日桐花大綬章。同瑞寶章。功一級金鷄勳章各副章及ビがいたし頸飾章並ビニ同星章ヲ御佩用、皇后ト俱ニ鳳凰閣ニ出御、同間外階段下外廊下ニテ親王ヲ迎へ給ヒ、御對面ノ後暫時御會話アリ、午後零時三十

豐明殿ノ御
會食

五分豐明殿ニ出御、貞愛親王。戴仁親王。同妃智恵子。依仁親王。同妃周子。博恭王。鳩彦王。稔彦王。成久王。同妃房子内親王。恒久王。同妃昌子内親王ヲ召シテ午餐ノ御催アリ、皇后ト俱ニこんのいと親王ト御會食、英吉利國特命全權大使さし。くろいど。まつくすうえり。まくどなるど夫妻及ビ娘。大使館一等書記官でいれる。くらつけんそいぶ。同三等書記官えどまんど。まんそん。大使館附武官海軍大佐さし。だぐらす。い。あ。あ。あ。ぶ。らうんりつく。同陸軍中佐じえい。えい。しい。そま。ういる夫妻。同商務官い。えふ。くろい夫妻。大使館

二等書記官兼日本語書記官ほばいと、はむぶでん夫妻。同外交官補陸軍少佐えい・おい・える・きんだいすれい夫妻。英吉利國皇族隨員元帥ろいど・めすいえん。同海軍大將さー・えどまんど・えす・ほい。同外務省員まいるす・らむぶそん。同陸軍大尉いー・えつち・ぼなむ。英吉利國支那艦隊司令長官海軍中將さー・うるんすろい。海軍大佐てい・はんと。同ばるとろいと。同ぶるす。同けいれい。同參謀中佐だいるれい。同主計官がすく。同參謀大尉こわん及び樞密院議長公爵山縣有朋。元帥公爵大山巖。樞密顧問官侯爵松方正義。正二位侯爵井上馨。

從一位公爵徳大寺實則。侍從長公爵桂太郎。海軍大將伯爵東郷平八郎。内閣總理大臣侯爵西園寺公望。元帥伯爵伊東祐亨。元帥伯爵奥保鞏。元帥子爵井上良馨。朝鮮總督伯爵寺内正毅。海軍大臣男爵齋藤實。宮内大臣伯爵渡邊千秋。遞信大臣伯爵林董。司法大臣松田正久。内務大臣原敬。外務大臣子爵内田康哉。農商務大臣男爵牧野伸顯。文部大臣長谷場純孝。大藏大臣山本達雄。陸軍大臣男爵上原勇作。正二位伯爵大隈重信。同伯爵土方久元。海軍大將伯爵山本權兵衛。正三位子爵平田東助。同子爵大浦兼武。參謀總長陸軍大將子爵長谷川好道。海軍軍令

部長海軍大將男爵伊集院五郎。式部長官伯爵戸田氏共。侍從武官長男爵中村覺。皇后宮大夫心得公爵一條實輝。式部次官公爵伊藤博邦。帝室會計審査局長官齋藤桃太郎。調度頭長崎省吾。主馬頭子爵藤波言忠。海軍中將男爵坂本俊篤。内匠頭片山東熊。賞勳局總裁伯爵正親町實正。宮内次官河村金五郎。式部官山内勝明。内苑頭子爵福羽逸人。式部官吉田要作。同子爵稻葉正繩。同淺野長之。總領事芳澤謙吉。式部官峰須賀正韶。陸軍砲兵中佐吉田豐彦。皇后宮職女官吉見光子。同御用掛松平信子ニ陪食ヲ賜ヒ、三時五分青山離宮ニ還御アラセラル。

侍從職日記・典侍

圖書寮

日記・外賓參内録・外賓接待録・官報

是ノ日、故學習院長陸軍大將從二位勳一等功一級伯爵乃木希典送葬ニヨリ侍從高辻宜磨ヲ其ノ邸ニ遣シ、幣帛。神饌竝ビニ神壹對ヲ賜ヒ、靈前及ビ葬齋式場ニ玉串ヲ供セシメラル。

謹ミテ接ズルニ天皇未ダ龍潛ノ昔寶算十歳ノ夏、箱根御轉地ノ際汽車中ニ於テ希典ヲ見給ヒシヨリ以來、親近セシメラレシヲ以テ、今ヤ其ノ自刃ノコト天聽ニ達スルヤ、之ヲ憫ミ給フ處渺カラズ。長クモ左ノ御製アリ。何レモ、觀慮ヲ拜スルノ資タルヲ以テ、茲ニ掲ゲ奉ルベシ。

乃木希典ヲ
哭シ給フ遊

吳乃木大將

滿腹誠忠萬國知 武勳赫々戰征時 勵精督學尤嚴肅
夫婦自裁情耐悲

追懷乃木希典

追懷情不已 名將又忠臣 北伐或南戰 用兵驚鬼神
懷乃木希典

平生忠勇養精神 旅順攻城不惜身 颯爽英姿全晚節
淋漓遺墨々痕新

因ニ希典、維新ノ初メ御親兵掛ト爲リ、明治四年陸軍
少佐ニ任ゼラレ、同十年西南ノ役ニ連戰シテ功アリ、陸

乃木希典略

圖書寮

軍中佐ニ進ミ同十^八年陸軍少將ニ累進、明治二十七八年
戰役ノ功ヲ以テ勳二等旭日重光章竝ビニ功三級金鷄勳章
ヲ賜ヒ、特ニ華族ニ列シ男爵ヲ授ケラル。尋イデ臺灣總
督。第十一師團長等ニ補セラレ、位從三位ニ陞ル。明治
三十七八年ノ役起ルニ及ビ、留守近衛師團長ヨリ擢デラ
レテ第三軍司令官ト爲リ、陸軍大將ニ任ゼラレ旅順ニ戰
ヒ、攻圍半歲ニシテ迷ニ之ニ克テ、同三十九年一月凱旋
ス。天皇其ノ偉勳ヲ嘉シ勳一等旭日桐花大綬章ヲ授ケ、
功一級金鷄勳章ヲ賜ヒ、同四十年伯爵ニ陞セラレ、軍務
ノ傍ヲ學習院長ヲ兼ネシメ、皇族。華族等ノ鞠育ニ當ラ

英國皇族臨別ノ宴

シメ給へり。希典常ニ明治天皇ノ殊遇ニ感泣スル處アリ、
 天皇崩御セラルルヤ之ニ殉ジ奉ル覺悟ヲ以テ、去ル九月十
 三日轎車發轅ヲ期シ、俱妻ト共ニ自刃セシナリ。恩賜錄、贈賜錄、
官報、乃木院長記念錄、乃木大將事蹟、大正天皇臨臨集、大正天皇御製集稿本

十九日、午前九時十分青山離宮御出門、皇后ト俱ニ宮
 城ニ出御アリ。午後零時二十分英吉利國皇族ありさし、
 おぶ・こんのーと親王ヲ御車寄ニ迎へ給ヒ、鳳凰閣ニテ
 皇后ト俱ニ御引見ノ後、親王、近日歸國ノ途ニ就クヲ以
 テ離別ノ宴ヲ豐明殿ニ於テ御催アリ、貞愛親王。載仁親
 王。同妃智恵子。依仁親王。同妃周子ヲ召シ、こんのー

圖書寮

と親王ト御會食、英吉利國特命全權大使さし・くろーど、
 まつくすうえゐる・まくどなるど夫妻。英吉利國皇族隨員
 元帥ろーど・めすーえん。同海軍大將さし・えどまんど、
 えす・ぼいー。同外務省員まいるす・らんぶそん。同海
 軍大尉いー・えつち。坂なむ及ビ侍從長公爵桂太郎。海
 軍大將伯爵東郷平八郎。宮内大臣伯爵渡邊千秋。外務大
 臣子爵内田康哉。式部長官伯爵戸田氏共。侍從武官長男
 爵中村覺。皇后宮大夫心得公爵一條實輝。式部次官公爵
 伊藤博邦。海軍中將男爵坂本俊篤。式部官山内勝明。同
 丹羽勝之助。同吉田要作。同子爵稻葉正繩。同淺野長之。

この一と
親王ヲ伏見
宮邸ニ御訪
問

侍從武官差
遣

總領事芳澤謙吉。式部官峰須賀正韶。陸軍砲兵中佐吉田
 豐彦。皇后宮職女官吉見光子。同御用掛松平信子ニ陪食
 ヲ賜フ。宴終リテ午後二時三十分宮城御出門、この一
 と親王ヲ旅館伏見宮邸ニ訪ヒ給ヒ、三時四十分青山離宮
 ニ還御アラセラル。猶ホ、親王ハ午後九時三十二分新橋
 停車場發ノ汽車ニテ退京セリ。侍從職日記・侍從武官府
 日誌・典侍日記・外實參
 待餘・官報

二十日、侍從武官上田兵吉ヲ特別工兵演習ニ、同島内
 榎太ヲ海軍戰團射擊演習ニ遣シ、實況ヲ觀察セシム。爾
 後、侍從武官差遣ノコト略々左表ノ如シ。侍從武官府日
 誌・差遣錄

圖書寮

恩賜
官報錄

月日	差遣先	差遣武官
十月四日	鎮海防備隊	男爵西紳六郎
同日	近衛師團名譽射擊	上田兵吉
同日	特別重砲兵演習	男爵山根一貫
同日	陸軍大學校參謀演習	奥村拓治
同日	海軍大演習	島内榎太
同日	近衛師團機動演習	男爵山根一貫
同日	第十、第十七師團臨時師團對抗演習	上田兵吉
同日	海軍工機學校卒業式	島内榎太
同日	將官演習旅行	男爵山根一貫
同日	第一師團管下各部隊	奥村拓治
同日	東京癩病院	同
同日	海軍砲術學校卒業式	關野謙吉

侍從殿波御ノ儀

青山離宮ヲ御在所ト定メラル

東宮侍從長ノ兼任

二十一日、午前九時青山離宮御出門、宮城ニ行幸、十時錫紵御服ニテ侍從殿波御並ビニ假念ノ儀アリ、二十分ニシテ入御、午後零時三十分青山離宮ニ還幸アラセラル。猶ホ二十六日ヨリ大正二年六月十八日迄青山離宮ヲ御在所ト爲シ、日常ノ政務ヲ御親裁、宮城ニハ公式ノ御引見其ノ他康立チタル場合ニ於テ臨時ニ出御アラセラル。後、十月一日毎週水曜日ヲ宮城出御ノ日ト定メラル。侍從職日記・侍從武官府日記・侍從日記・例規錄・官報

是ノ日、東宮大夫從三位勳一等男爵波多野敬直ニ東宮侍從長ヲ兼ネシメ、東宮侍從長從二位勳三等功五級公爵

李垺公ニ陪食ヲ賜フ

一條實輝ヲ掌典次長ニ任ズ。遊退錄・官報

二十四日、稔彦王。恒久王ヲ召シ、千種間ニテ午餐ノ御催アリ、明二十五日朝鮮ニ歸ル李垺公及ビ侍從長公爵桂太郎。朝鮮總督伯爵寺內正毅。宮内大臣伯爵渡邊千秋。侍從武官長男爵中村覺。中樞院副議長伯爵李完用。李王職長官子爵閔丙奭。宗秩寮總裁候爵久我通久。中樞院顧問子爵趙重應。宮内次官河村金五郎。侯爵朴泳孝。朝鮮總督府警務總長明石元二郎。同内務部長官宇佐美勝夫。同參事官秋山雅之助。朝鮮總督附武官山縣文藏。中樞院顧問男爵張錫周。朝鮮總督府總務局長伯爵兒玉秀雄。李

樞密院會議
ニ臨御

山縣大勳位
等ニ陪食ヲ
賜フ

王職事務官金東元。宮内省翻譯官武田尙。朝鮮總督專屬
副官藤田鴻輔。朝鮮總督府通譯官藤波義貫。李焜公附武
官張寅根。李王職事務官黑崎美智雄ニ陪食ヲ賜フ。特
錄・宣召
官報

二十五日、始メテ樞密院會議ニ臨御アラセラル。爾後、
概ネ毎週水曜コノコトアリ。尋イデ正午貞愛親王。鳩彦
王ヲ召シ千種間ニ於テ午餐ノ御儀アリ、大勳位公爵山縣
有朋。同公爵大山巖。同侯爵松方正義。同侯爵井上馨。
同公爵德大寺實則。侍從長公爵桂太郎。内閣總理大臣侯
爵西園寺公望。海軍大臣男爵齋藤實。宮内大臣伯爵渡邊

圖書寮

西國てれき
内親王薨去
ニヨリ宮中
與

千秋。遞信大臣子爵林董。司法大臣松田正久。内務大臣
原敬。外務大臣子爵内田康哉。農商務大臣男爵牧野伸顯。
文部大臣長谷場純孝。大藏大臣山本達雄。陸軍大臣男爵
上原勇作。皇太后宮大夫伯爵香川敬三。侍從武官長男爵
中村覺。東宮大夫男爵波多野敬直。帝室博物館總長股野
琢。帝室會計審査局長官齋藤桃太郎ニ陪食ヲ賜フ。侍從
職日
記・典
特日記
宣召錄・官報

是ノ日、西班牙國皇帝あるふおんそ第十三世ニ對シ、
姉いんふあんだ・どにや・まりや・てれき内親王去ル二
十三日薨ゼシヲ以テ、弔慰ノ電報ヲ發シ給ヒ、二十八日

ヨリ十月五日ニ至ル八日間宮中喪ヲ仰出サレタリ。官報。外交。

恩赦令・大赦令ノ公布

二十六日、恩赦令。大赦令ヲ裁可シ、之ヲ公布施行セシム。官報。

皇子御養育掛長ノ任命

三十日、宮中顧問官丸尾錦作ヲ皇子御養育掛長兼東宮職御用掛ト爲ス。進退録。官報。

十月二日、午前九時五分青山離宮御出門、宮城ニ出御、先ヅ禮殿ニ御拜アラセラレ、御座所ニテ内閣總理大臣侯爵西園寺公望。外務大臣子爵内田康哉。麁香間祇候。錦鶏間祇候及ビ宮中顧問官ニ謁ヲ賜フ。

樞密顧問官
ニ陪食ヲ賜フ

正午載仁親王。成久王ヲ召シ、千種間ニ於テ午餐ノ御催アリ、樞密顧問官侯爵松方正義。侍從長公爵桂太郎。宮内大臣伯爵渡邊千秋。正二位伯爵大隈重信。同伯爵土方久元。同伯爵田中光顯。海軍大將伯爵山本權兵衛。正三位子爵平田東助。同子爵大浦兼武。樞密院副議長伯爵芳川顯正。樞密顧問官子爵福岡孝弟。同男爵細川潤次郎。同子爵河瀬眞孝。同子爵中牟田倉之助。同侯爵蜂須賀茂韶。同子爵高島朝之助。同子爵伊東巳代治。同子爵金子堅太郎。同子爵末松謙澄。同子爵清浦奎吾。同男爵南部颯男。同男爵加藤弘之。同子爵青木周藏。同伯爵香川敬

三。同男爵松平正直。同男爵船越衛。同男爵濱尾新。同男爵花房義質。同男爵周布公平。同男爵菊池大龍。同男爵北垣國道。侍從武官長男爵中村覺。侍從職幹事務取扱公爵鷹司源通。侍從公爵九條道實。帝室會計審査局長官齋藤桃太郎。宮内次官河村金五郎。帝室林野管理局長官佐々木陽太郎。内藏頭吉田醇一ニ陪食ヲ賜ヒ、午後三時二分青山離宮ニ還御アラセラル。侍從職日記・侍從武官日記・典侍日記・官報

四日、宮中顧問官正四位勳二等種積八東病篤キヲ以テ、特ニ位一級ヲ進メ從三位ニ敘シ、勳一等瑞寶章ヲ賜フ。

圖書寮

種積八東病

中山慶子五年祭
伊藤博文三年祭

尋イデ薨ズルニ及ビ、八日勅使侍從子爵河端公篤ヲ其ノ邸ニ遣シ幣帛ヲ賜フ。八東ハ多年東京帝國大學法科大学教授トシテ國法學、就中、我が帝國憲法ノ闡明ニ努メ、又法典調査會委員トシテ諸法典ノ起草ニ當リ、帝室制度調査局ヲ設置セラルルヤ御用掛ヲ命ゼラレ、又御講書始ニハ數回洋書ノ進講ヲ奉仕シ、其ノ功勞顯著ナリシヲ以テナリ。猶ホ、東京帝國大學名譽教授ノ稱ヲ賜ヘリ。

又故從一位中山慶子ノ五年祭ヲ行フヲ以テ、特ニ祭料參百圓ヲ侯爵中山孝麿ニ賜フ。猶ホ二十六日故樞密院議長公爵伊藤博文ノ三年祭ヲ行フニヨリ、祭料貳拾五

一條忠香五十年祭

圖ヲ公爵伊藤博邦ニ、十一月十四日ニハ故從一位一條忠香ノ五十年祭ニヨリ、香華料五百圓ヲ公爵一條實輝ニ賜ヘリ。恩賜錄。官報

五日、宮内省官制ノ一部ヲ改正シ、次侍從廢止ノ件ヲ裁可アラセラレ、之ヲ公布施行セシム。進退錄。官報

七日、午前九時三十五分青山離宮御出門、皇后ト俱ニ宮城ニ出御、正午貞愛親王。成久王。同妃房子内親王ヲ召シ、豐明殿ニ於テ午饗ノ御儀アリ、埃地利匈牙利國特命全權大使男爵ラヂすらす。みゆるれる。ど。すつえんと。ぎおるぎ一並ビニ侍從長公爵桂太郎。宮内大臣伯爵

すつえんと。ぎおるぎ一並ビニ侍從長公爵桂太郎。宮内大臣伯爵ニ陪食ヲ賜フ

圖書寮

沖守國菟ズ

渡邊千秋。外務大臣子爵内田康哉。式部長官伯爵戸田氏共。侍從武官長男爵中村覺。侍從職幹事事務取扱公爵藤司照通。式部次官公爵伊藤博邦。宮内省御用掛井上勝之助。宮内次官河村金五郎。皇后宮大夫心得山内勝明。式部官峰須賀正韶。皇后宮職女官吉見光子。同生源寺政子ニ陪食ヲ賜ヒ、千種間ニテ御會談、二時五十五分青山離宮ニ還御アラセラル。侍從職日記。侍從武官府日記。典侍日記。編見錄。官報
是ノ日、錦鷄間祇候宗秩寮審議官從三位勳二等男爵沖守國病篤キヲ以テ、特ニ位一級ヲ進メ正三位ニ敘シ、勳一等瑞寶章ヲ賜フ。八日薨ズ。十三日葬送ニヨリ、勅使

侍從子爵松浦靖ヲ其ノ邸ニ遣シ幣帛ヲ賜フ。守固、多年
地方長官ノ職ニ膺リ、又元老院議員。宗秩寮審議官トシ
テ功績尠ナカラザリシヲ以テナリ。鳳鳴錄・官報

九日、午前九時青山離宮御出門、宮城ニ出御、十時三
十分鳳凰閣ニテ和蘭國ヨリ歸朝セル特命全權公使佐藤愛
磨、歐羅巴ヨリ歸朝セル陸軍歩兵少佐生沼昭次及ビ英吉
利國駐在ヲ命ゼラレタル陸軍歩兵大尉二宮治重ニ謁ヲ賜
ヒ、午後零時二十五分還御アラセラル。侍從職日記・官報

十日、船舶職員法ヲ日本ノ沿岸又ハ湖川港内ノミヲ航
行スル外國船舶ニ準用セシムルノ件ヲ裁可アラセラレ之

圖書寮

大喪使職員
ニ關シ

ヲ公布シ、大正二年一月一日ヨリ施行セシム。官報

是ノ日、大喪使副總裁宮内大臣伯爵渡邊千秋以下事務
官。祭官長。祭官副長。祭官竝ビニ事務囑託等ニ午饗ヲ
賜フ。官報

十一日、宮内職員懲戒免除ニ關スル件ヲ裁可アラセラ
レ、之ヲ公布施行セシム。官報

十二日、午後二時五分青山離宮御出門、皇后ト俱ニ宮
城ニ出御、明日、皇太后伏見桃山陵御參拜ノ爲メ行啓ノ
御豫定ナルヲ以テ御對顔、四時四十三分還御アラセラル。
侍從職日記・侍從武官府日記・皇太后宮職日記・官報

べるたん佛
國武官ヲ御
引見

十四日、午前九時十分青山離宮御出門、宮城ニ出御、
十時三十分鳳凰間ニテ解任歸國スベキ佛蘭西國大使館附
武官陸軍大尉べるたんヲ御引見アリ、又伊太利國ヨリ歸
朝セル海軍大佐齋藤半六ニ謁ヲ賜フ。

午後一時三分鳳凰間ニ於テ正倉院御物ヲ天覽、二時五
十分還御アラセラル。侍從職日記・侍從武官府日誌・
真侍日記・謁見録・官報

十五日、伏見桃山陵ニテ臨時祭ヲ行ハシム。皇太后始
メテ謁セラルルヲ以テナリ。祭記録・
官報

齋藤實・瓜
生外吉ヲ海

十六日、午前九時三分青山離宮御出門、宮城ニ出御、
十時三十分親任式ヲ行ヒ、海軍中將正三位勳一等功二級

圖書寮

軍大將ニ任
ズ

男齋藤實。同從三位勳一等功二級男齋藤瓜生外吉ヲ海軍
大將ニ任ズ。午後零時三十五分青山離宮ニ還御アラセラ
ル。侍從職日記・典
侍日記・官報

二十日、午前十時五分青山離宮御出門、皇后ト俱ニ宮
城ニ出御、伏見桃山陵ヨリ還啓アラセラレタル皇太后ニ
御對顔、午後零時十五分青山離宮ニ還御アラセラル。官報

二十一日、明治三十九年法律第三十四號、同四十二年
法律第八號及ビ同年法律第九號ヲ朝鮮。臺灣及ビ樺太ニ
施行ノ件及ビ關東州ニ於ケル國債ニ關スル件ヲ裁可アラ
セラレ、之ヲ公布施行セシム。官報

陸軍騎兵實
施學校ニ行
幸

二十三日、陸軍騎兵實施學校ニテ修業式舉行ニヨリ、午前九時四十分青山離宮御出門、同校ニ行幸、校長陸軍騎兵大佐森岡守成ノ御先導ニテ便殿ニ入御、暫時御休憩ノ後、貞愛親王。載仁親王ヲ始メ元帥伯爵奧保鞏以下三十六名ニ謁ヲ賜ヒ、更ニ御徒歩ニテ第五馬場及ビ天覽所ニ玉步ヲ進メ、學生ノ各種馬術竝ビニ戰國教練ヲ嚮セラレ、優等修業學生陸軍騎兵大尉大高盛哉。同輜重兵少尉森永武雄。同騎兵曹長山下松次郎等ニ銀時計各壹個ヲ、同騎兵少尉小堀是繁ニ指揮刀壹振ヲ賜ヒ、午後零時三十分還幸アラセラル。

侍從職日記・幸啓錄・典侍日記・侍從武官府日誌・官報

まくどなる
ど英國大使
ニ陪食ヲ賜
フ

二十四日、午前九時五分青山離宮御出門、宮城ニ出御、十一時五十分鳳凰閣ニテ解任歸國ノ爲メ參内セル英吉利國特命全權大使さー・くろーど・まつくすうゑる・まくどなるど。同妻及ビ娘ヲ御引見、尋イデ午餐ノ御儀アリ、皇后ト俱ニ豐明殿ニ出御、載仁親王。同妃智恵子ヲ召シ、まくどなるど大使ヲ始メ侍從長公爵桂太郎。内閣總理大臣侯爵西園寺公望。宮内大臣伯爵渡邊千秋。外務大臣子爵内田康哉。式部長官伯爵戸田氏共。侍從武官長男爵中村覺。侍從職幹事務取扱公爵鷹司照通。式部次官公爵伊藤博邦。宮内次官河村金五郎。皇后宮大夫心得山内勝

明。式部官子爵福羽逸人。同吉田要作。同子爵稻葉正繩。同峰須賀正韶。皇后宮職女官吉見光子。同生源寺政子ニ陪食ヲ賜ヒ、二時四十五分青山離宮ニ還御アラセラル。

侍從職日記。與侍日記。謁見錄。官報

三十日、午前九時二分青山離宮御出門、皇后ト俱ニ宮城ニ出御、午前十時三十分鳳凰閣ニテ海外ヨリ歸朝セル東京帝國大學理科大學教授藤澤利喜太郎。陸軍砲兵中佐淺岡信三郎。鐵道院技師生野圓六。同井上昱太郎。同松木壽。男爵伊藤文吉ニ賜ヲ賜ヒ、午後零時三十分青山離宮ニ還御アラセラル。拜謁參拜錄。侍從職日記。侍從武官府日誌。官報

侍從ヲ差遣

是ノ日、拓殖博覽會ニ侍從男爵米田虎雄ヲ遣シ、同會ニ出場セル臺灣。樺太等ノ土人十餘人ニ御菓子料ヲ賜フ。

恩賜錄

3204 268

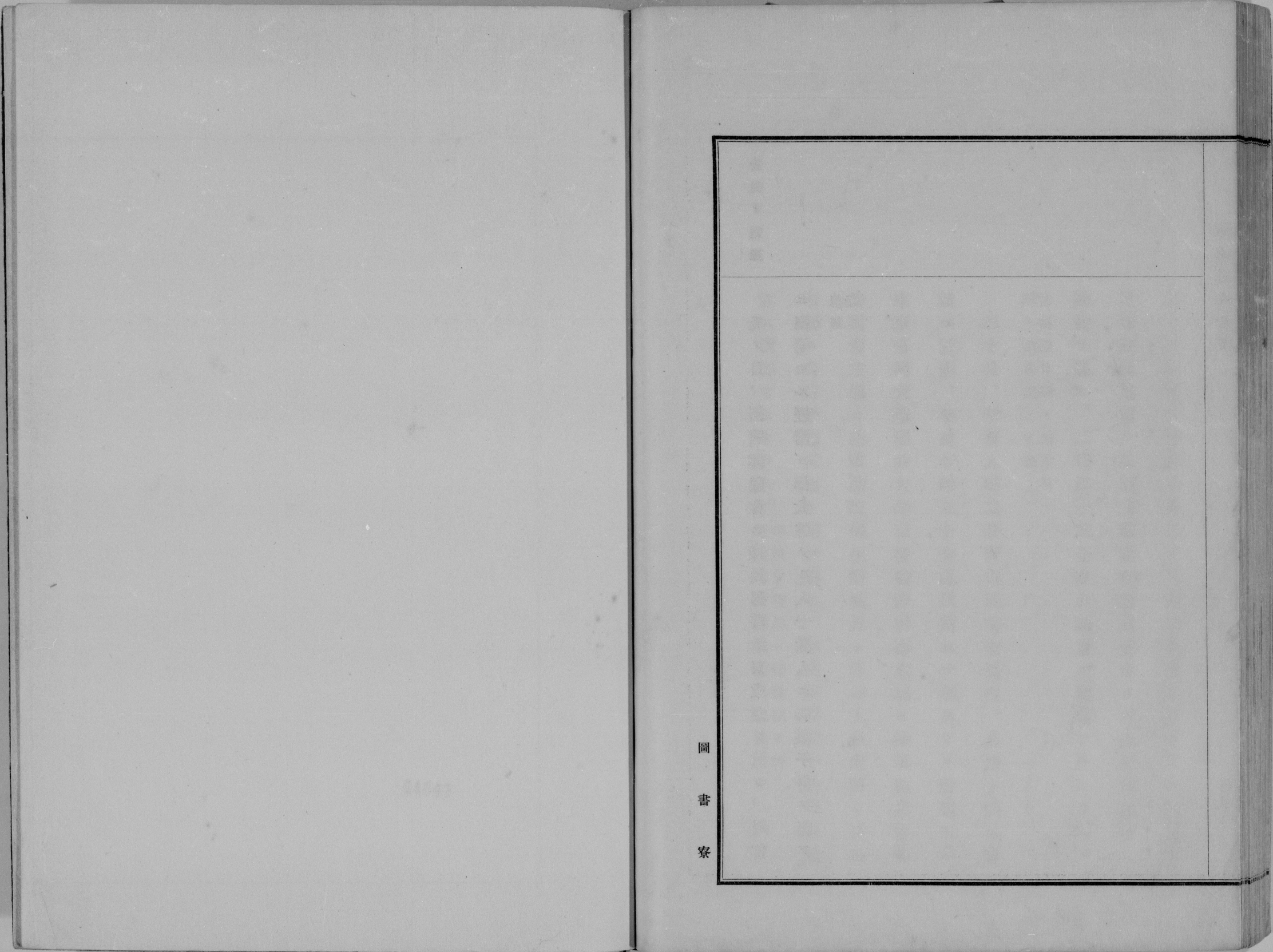


圖
書
寮

3204 269

64047

3204 270

